

学生サークル地域貢献活動

学生サークル地域貢献活動は、平成24年度に「電通大のお兄さんお姉さんと楽しむ工作教室」と呼んでいたものを、学内での正式名称としたものである。

この活動の趣旨は、地域で人気が高いが要望に答えきれていない子供向け理科教室（「調布少年少女発明クラブ」および「工作教室」）を補完すべく、目黒会支援のもとに学生サークルが新たに工作教室を開催するというものである。実際、発明クラブの応募倍率は毎年8倍を超え、工作教室も20名の一般枠はすぐに埋まるという状況である。発明クラブ、工作教室の指導員と比較すると不慣れではあるが、大学生が個人の得意分野において指導を行う工作教室は大いに存在意義があると期待される。

これまでは、理科教室の補完という意味合いが強かったため文化系サークルに限って募集を行ってきたが、一昨年度は、応募団体がなかったため未開催となった

昨年度から、地域貢献により重きを置き、体育会系サークルにも対象を広げることとした。

○ 小学生対象イベント「宇宙をもっと身近に感じよう」

電気通信大学「Live in SPACE Project」のメンバーが指導員となり、小学生を対象にイベントを行った。

・開催日時：平成28年10月30日（日）13:00～16:00

・開催場所：電気通信大学創立80周年記念会館3階

・指導員：Live in SPACE Project 15名

電気通信大学 4名

東京大学 5名

慶応大学 5名

千葉大学 1名

・参加者：富士見児童館 小学生 12名（男子7名、女子5名）

保護者 5名

・実施イベント

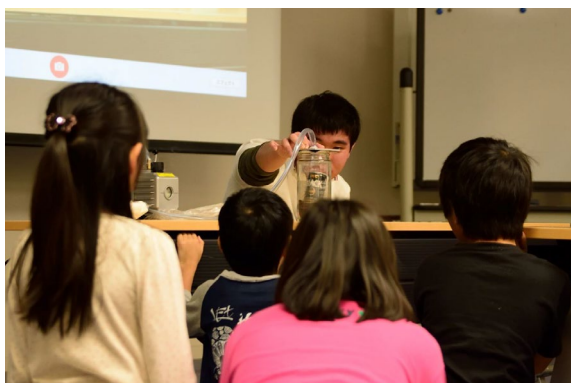
- ① ブラックホールを作ってみよう
- ② ハヤブサを作ろう！
- ③ 空気がないとどうなるの？
- ④ 太陽が消える！！日食のふしぎ
- ⑤ 燃料を使わず帰還せよ！！

・実施状況

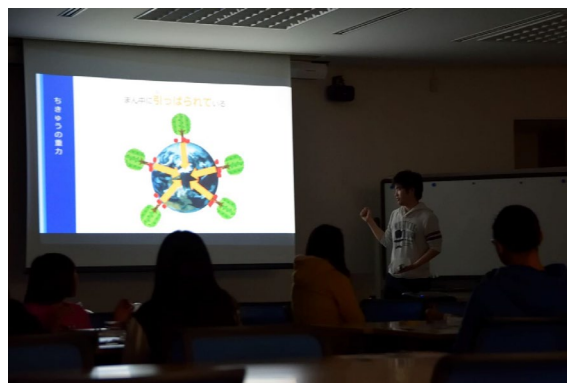
募集時期が準備の関係で遅くなったことから参加者が少なくなることが懸念されたが、無事に集まり今回のイベントを開催することが出来た。

題材が宇宙ということで、理科を学習し始める小学校高学年の児童が多かったが、それ以外の児童も楽しんでいる様子がうかがえた。

宇宙科学を分かりやすく伝えることは容易ではなかったが、児童が落ち着いて我々の話を聴いてくれたこともあってスムーズに活動が行えた。



【真空を作り出す実験の様子】



【実験前のミニ授業の様子】